

国際センター通信 (No.10)

会長挨拶～土木学会会長 橋本鋼太郎

昨年4月に発足した国際センターは、今年4月に体制を新たに充実した2年目を迎えることとなりました。

国際部門担当理事のもと、国際戦略委員会と連携して活動します。体制はセンター長、センター長代行、センター次長他から構成される事務局と、情報G、国際交流G、教育G、留学生G、特定Gの5つのグループで組織されています。特に国際交流Gは海外支部分会のある台湾、韓国、英国、モンゴル、トルコ、インドネシア、タイ、フィリピン、ベトナム、この他に米国、ミャンマーの各国別に産・学・官の担当者を定めて対応することとしています。活動の重点は次のとおりです。

- ・国際情報収集・発信体制の確立
- ・留学生ネットワークの構築と運用
- ・国際市場で活躍できる人材育成支援体制の確立

このためには国土交通省、JICA、大学等の教育研究機関、建設業界、建設コンサルタント協会等の関連団体と緊密なネットワークを構築して協力関係を充実する必要があります。

また、国際交流、国際協力は相手国の利益を最優先に取り組むことが結果として両国の関係を親密なものとし、発展的な成果を生むものと考えます。

本年度は8月にインドネシアで第6回アジア土木技術国際会議(6th CECAR)が開催されます。9月には千葉県で行われる土木学会全国大会において国際パネルディスカッションが「持続可能な社会を実現する社会インフラの適切な維持管理・更新」をテーマとして開催されます。また留学生を中心とした英語による研究発表の場であるサマーシンポジウムが計画されている他、新たに留学生による若手技術者ワークショップも企画されています。

会員皆様の多数の参加を期待するとともに、国際センターの活動にご理解とご協力をお願いいたします。



土木学会 会長
橋本 鋼太郎

第57回 European Council of Civil Engineers(ECCE) 総会・会議報告

土木学会が1999年に協力協定を締結したEuropean Council of Civil Engineers(以下ECCE)の第57回総会が2013年5月30日から6月3日の間で、ポルトガルのリスボンにおいて開催されました。ECCEはヨーロッパ地域における土木建築技術の発展、自然環境保全に貢献するための土木技術者の支援をさらに強化することを目的として、1985年に設立されたヨーロッパ地域の土木関係学協会の連合組織です。

土木学会は今回のECCE総会に、小野武彦会長(当時、現・土木学会顧問)はじめ計4名を派遣、同会議に参加、出席しました。今回のECCE総会参加の主な目的は、土木学会の活動紹介、2014年に開催される土木学会創立100周年記念行事の案内と参加の協力要請ならびに土木学会とECCE間の協定書の更新です。

ECCE 総会の開会式では、小野会長によるご挨拶があり、引き続き行われた ECCE Conference では、土木学会活動ならびに土木学会 100 周年記念行事に関するご講演いただきました。その後会場を移して行われた土木学会と ECCE 関係者との会合では、ECCE からは Fernando Branco 会長、Wlodzimierz Szymczak 次期会長、Gozard Humar 前会長はじめ ECCE の理事 9 名が参加され、そこでは小野会長から土木学会 100 周年記念事業の紹介、100 周年記念国際会議ならびに記念式典への参加等の協力を要請しました。会議後、土木学会と ECCE の協定書更新のセレモニーが行われ、小野会長、Branco ECCE 会長、Szymczak 次期会長が署名をし、両学会の交流を今後さらに深めることを約束しました。

ECCE 総会は、ヨーロッパ各国の土木系学会が参集する重要な会議であり、各学会代表者間の、情報交換や意見交換が活発に行われており、今回も参加者間でヨーロッパ地域全体における土木界の在り方を議論し、将来のヨーロッパ地域の方向付けをしている印象を受けました。また今回の ECCE 総会への参加は、アジアから唯一土木学会が参加し、たいへん注目を受けました。今後も相互に大会等の参加による交流を深め、協力・協働をはかり、両学会の交流が継続するよう活動を続けてまいります。



小野会長の講演



ECCE-JSCE ミーティングの様子

台湾・楊 秋興大臣講演会報告

◆ 「台湾の行政経営における土木技術者の役割」

2013 年 6 月 10 日（月）に土木学会講堂において国際センターの主催により、楊 秋興氏（台湾・行政院政務委員＝無任所大臣、前高雄県知事）の講演会「台湾の行政経営における土木技術者の役割」を開催しました。国際センター台湾担当の大内氏（高知工科大学准教授）が司会を務め、中国語での講演の逐次通訳を柯 武徳氏（土木学会台湾分会幹事長、正修科技大学助教授）が担当しました。参加者は 80 名でした。

まず小野武彦土木学会長（当時、現・土木学会顧問）より挨拶がありました。つづいて楊氏による講演が約 1 時間行われました。楊氏の講演では行政経営を産業、観光、環境、災害復興の面から高雄県知事の経験を元にした内容について紹介がありました。狭義の土木工事に留まらない、土木技術者の役割について参加者一同認識を新たにしました。講演後には講演時間を上回る約 70 分間の活発な質疑が行われました。台湾の洪水被害、台湾における原子力発電の今後、台湾の年金制度改革、新幹線開通後の台湾国鉄（在来線）の経営状況、農業振興策、台湾の若者の土木観や海外工事への注目度など、狭義の土木に留まらない台湾の行政全般に対する質問から、台湾に対する関心の高さを窺い知ることができました。また、台湾の行政に関するあらゆる質問に対して楊大臣の的確な回答から、土木技術者としての能力の高さを垣間見る事ができました。一方、日本では台湾に関する報道が極めて少ない事も認識できました。

事前の PR が十分ではなかったため、想定していたよりも少ない参加者となりました。国際センターは会員の海外への関心を高めることも活動目的の一つとしていることから、今後は多くの参加があるよう注力していきます。



(右から)小野会長、楊大臣、柯台湾分会幹事長



講演会の様子

定時総会 国際貢献賞の表彰

以下4名の方が、今年度の定時総会にて国際貢献賞を受賞されました。(敬称略)

- ・岡崎 有二 : 株式会社岡崎&パートナーズ代表取締役、特定非営利活動法人日本プロジェクトマネジメント協会副理事長
- ・高山 知司 : 一般財団法人沿岸技術研究センター参与兼沿岸防災技術研究所長
- ・畑尾 成道 : 日本工営株式会社 技術監査室技師長
- ・NGO THINH DUC : Viet Nam Bridge and Road Association 会長

また、15名の方が国際活動奨励賞を受賞されました。

http://www.jsce.or.jp/prize/prize_list/p2012.shtml

イベント情報

- ・8/20-22 : ACECC 6th CECAR (インドネシア・ジャカルタ)
(<http://committees.jsce.or.jp/acecc/6thcecar>)
- ・9/4-6 : 平成25年度 土木学会全国大会 (日本大学津田沼キャンパス)
- ・10/9-12 : ASCE 年次大会 (アメリカ・ノースカロライナ州 シャーロット)
(<http://content.asce.org/conferences/asce-annual2013/>)
- ・10/23-25 : KSCE 年次大会 (韓国・江道原)

お知らせ

- ◆ 土木学会誌の特集記事の概要を JSCE の website (英語版) にアップしました。
<http://www.jsce-int.org/pub/magazine>
- ◆ 土木学会コンクリート委員会 ニュースレター No. 33 が発行されました。
<http://www.jsce.or.jp/committee/concrete/e/newsletter/Newsletter.htm>

御協力をお願い

国際センターでは、国際活動に関する“情報発信の強化”を目標に掲げ「国際センター通信」を配信しておりますが、更に配信先を拡大し、皆さまと情報を共有していきたいと考えています。

つきましては、皆さまより周囲の方々へ国際センター通信をご紹介いただき、国際センター通信の定期的配信を希望される方には、次の登録フォームよりご登録いただくよう御案内いただけませんか。何卒、御協力のほどよろしくお願いいたします。

「国際センター通信配信希望者 登録フォーム」

- ・日本語版：<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/31>
- ・英語版：http://www.jsce-int.org/pub/registration/non-international_students
- ・英語版（日本の大学等への留学経験をお持ちの方）：<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/30>

編集後記

今号では、6月の定時総会で会長に就任されました、橋本会長よりあらためて国際センターの活動について紹介をしていただきました。また、5月の ECCE 総会参加、6月の楊大臣の講演会についても報告することができ、国際センター各グループメンバーの協力にも感謝する次第です。

次号でも有用な情報をお伝えできるよう、スタッフ一同努力する所存でございます。どうぞ、よろしくお願い致します。

【ご意見・ご質問】：JSCE IAC: iac-news@jsce.or.jp

本通信をより話題性に富んだ内容にするため、皆様のご意見やコメントをお聞かせください。

